

Into my Packet



後藤滋樹の

新・社会楽

後藤滋樹
goto@goto.info.waseda.ac.jp
早稲田大学 理工学部 情報学科

第30回「インターネットの崩壊説」

「インターネットは1996年に崩壊する!」という衝撃的な予言がインフォワールド誌の1995年12月4日号のコラムに掲載された。著者はメトカルフ氏(Bob Metcalfe)である。同氏はイーサネットの発明者であり、スリーコム社(3Com)の創始者でもある。IEEE(米国の学会)から1996年の名誉メダルを受賞した経歴も持つ。

さてメトカルフ氏は「予言が外れたらコラムを食べる」という約束をしていた。その約束を果たすべき日がついに来たのだ。

【まずケーキが登場】

たまたま私はカリフォルニア州サンタクララで開催された第6回WWWコンファレンス(4月7日~11日)に出席していた。その最終日(4月11日)の閉会式にメトカルフ氏が登場したのである。彼の話が始まる。

「う~む。確かに約束はしましたよ。だからコラムを食べようと思って調べたのですがね。雑誌を印刷しているインクの中には毒物に相当する成分も含まれている。私には子供もいるし妻もいる。家族の生活は私が支えているわけです...」

これは意外な泣き落とし戦術に出たか。

「それで本日も集まりの聴衆の方々へ伺いたい。答をイエスかノーで頂きたいのです。イエスというのは、メトカルフの予言は外れた、しかしポブ、毒を食べることはない。許してやろう。これに賛成の方はイエスと言ってください。それでも食べるべきだという御意見の方はノーと答えてください。はい。イエスの方...」

会場の反応は圧倒的にノーであった。割に冷たいですね、皆さん。

「私の耳にはイエスの声が圧倒的に大きく聞こえましたが」
ここで会場は騒然。

「では、仕方がない。食べますとも」というメトカルフ氏の声と同時に舞台上に大きなケーキが運ばれてくる。これを会場のテレビカメラが上から撮影して舞台上のスクリーンに投影した。何とケーキの上面は問題のコラムとそっくりに見えるよう

に細かい細工がしてある。この長方形のケーキにナイフを入れてメトカルフ氏はうまそうに食べる。会場から再び「ノー」の反応が起こる。

【ミキサーが登場】

「え? これでダメなんですか。皆さんご覧になったでしょう。これはコラムですよ。あー。やはりダメですか」というと、彼は演壇の机の下から野菜ジュースを作るような小型のミキサーを取り出す。インフォワールドのコラムのページを破る。水も加えてミキサーを回転させる。この結果はご想像のとおり、紙粘土を水で薄めたようなふわふわの状態になる。それを飲み込むメトカルフ氏。

あらら。本当に食べてしまった。でも短いコラムでよかったですね。

【崩壊説の内容】

このように外れてしまったインターネット崩壊説ではあるが、メトカルフ氏の主張には興味深い点もある。彼は10項目の理由を掲げていた[注1、2]

その中には、電子マネーには中間の介在者がたくさん存在するので、手数料

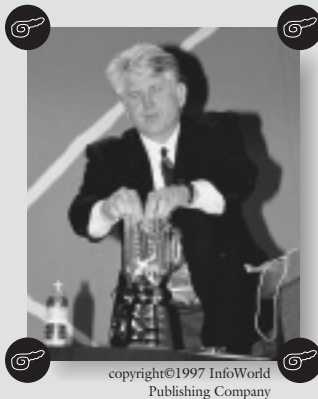
が高くなるという指摘がある。またウェブのページの視聴率は本当には分からない。それでは広告主は大金を出さないという主張もある。さらに固定料金によるサービス提供では利用の急増に対応する投資ができないという指摘がある。

インターネット上のポルノに関する議論が沸騰して、議論のトラフィックのほうがポルノ自体の情報を上回るだろうとも述べている。これは彼一流のユーモアだろう。実に面白い人物である。今回の壇上での演技力も相当のものであった。

【注】

(1) インフォワールド社のホームページ
URL <http://www.infoworld.com/>
このページのOPINIONSのBob Metcalfeの箇所からインフォワールド誌に掲載されたコラムが読める。問題のコラムにもアクセスできた。

(2) 「インターネット7つの不安」(朝日新聞社「DOORS」1996年11月号、80~93ページ)メトカルフの論点の紹介と論評。彼へのインタビュー記事などが掲載されている。



copyright©1997 InfoWorld
Publishing Company



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp